

「不動産ファンドフォーラム 2007 イン仙台」

“地方都市における不動産証券化セミナー”

日 時：平成 19 年 10 月 11 日(木) 13:30~17:00 (受付 13:00~)

会 場：仙台国際ホテル 4 階 広瀬 (仙台市青葉区中央 4-6-1) TEL 022-268-1111

参加費：無 料 定 員：200 名 (申込者多数の場合は抽選)

主 催：アセットブレインズ仙台ネットワーク

協 賛：UBS 証券会社・(財)日本不動産研究所・辻本郷税理士法人

後 援：仙台商工会議所・河北新報社・建設新聞社・仙台経済界

■第1部 『日本の不動産市場の現状と今後の動向』

講 師：UBS 証券会社 不動産シニアアナリスト 沖野 登史彦

◇ グローバル化する日本の不動産市場の現状と金利環境を含めた経済動向について

■第2部 『CRE(企業不動産)戦略と地方企業の取組み方』

講 師：(財)日本不動産研究所 企業資産評価プロジェクト室長 斎木 正人

◇ 地方企業におけるCRE戦略の取組み方と具体的な事例研究

■第3部 『仙台・東北圏の最新不動産証券化事情』

講 師：アセットブレインズ 仙台ネットワーク 事務局長 佐々木 正之

◆『名刺交換会』立食パーティー 17:30~19:30 3階 桜の間

ご案内

国土交通省の調査によると日本国内の不動産の総資産額は約 2300 兆円で、法人所有不動産は約 490 兆円といわれ、そのうち証券化された不動産は約 33 兆円であり、「不動産の証券化」は堅調に成長していると言えます。

不動産証券化市場の拡大は、J-REIT や私募ファンドの物件取得に負うところが大きく、首都圏における極端な物件不足が地方都市の物件取得競争に動き、地方都市の地価動向や不動産取引に多大な影響を及ぼしております。

近年、企業の不動産戦略については土地神話の崩壊や時価会計の導入により、不動産価値の最大化を常に求められようになってきており、企業経営において企業不動産の位置付けはますます重要になってきております。

第1部では、グローバル化した不動産市場について世界及び日本の現状と金利環境を含めた今後の経済動向について、不動産アナリストの沖野氏に講演していただきます。

第2部では、企業価値の最大化を図る「CRE 戦略」を地方企業がどう捉え、どう取り組むのかを具体的な事例にもとづいて、CRE 戦略第一人者の不動産鑑定士の斎木氏にわかりやすく解説していただきます。

第3部では、仙台・東北圏の不動産証券化事情を最新のデーターにもとづいて事務局長の佐々木が解説します。

本フォーラムが地方都市の不動産・建設会社、金融機関、有資格者等や地方企業の経営者及び財務担当者をはじめ、不動産ソリューション事業を手掛ける皆様のお役に立てれば幸いでございます。

趣旨のご理解とご賛同をいただき、是非ともご参加賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

お申込方法 裏面参加申込書に必要事項を記入し FAX にて申込 FAX : 022-371-6880

『不動産ファンドフォーラム2007 in仙台』

二 案 内

国土交通省の調査によると日本国内の不動産の総資産額は約2300兆円で、法人所有不動産は約490兆円といわれ、そのうち証券化された不動産は約33兆円であります。

「不動産の証券化実態調査」によれば、2006年度に証券化された不動産は約7.8兆円、件数で1661件に達し、前年対比で13%増となり、堅調に成長していると言えます。

不動産証券化市場の拡大を支えているのは、J-REITや私募ファンドの積極的な物件取得に負うところが大きく、首都圏における極端な物件不足が地方都市の物件取得に動き始めており、地方都市の地価動向や不動産取引に多大な影響を及ぼしております。

不動産が金融商品化する中で、不動産投資市場に流入する資金も多様化しており、特に海外投資家の資金がファンドを通じて日本の不動産に投資されております。

不動産投資のグローバル化により、REITは世界の不動産市場のメインストリームであるといつても過言ではなく、北米、欧州、アジア・オセアニアという3極体制ができつつあり、投資家は各国の市場を並列的に比較し、投資サイクルの中で資金を動かしながらポートフォリオを構築する時代に突入しています。

近年、企業の不動産戦略については土地神話の崩壊や時価会計の導入により、不動産価値の最大化を常に求められるようになってきており、企業経営において企業不動産の位置付けはますます重要になってきております。

企業の最大の固定資産である不動産資産の有効活用やその量の適正化、業務効率の向上などの観点から、戦略的に資産の保有形態や管理手法を見直す「企業不動産(CRE)戦略」の立案・実施などの社会的ニーズが高まりつつあります。

第1部では、グローバル化した不動産市場について世界及び日本の現状と金利環境を含めた経済動向について不動産アナリストの沖野氏に講演していただきます。

第2部では、企業価値の最大化を図るCRE戦略について地方企業がどう捉え、どう取り組むのかを具体的な事例にもとづいて、CRE戦略第一人者の斎木氏に講演していただきます。

第3部では、注目されている仙台・東北圏の不動産証券化事情について、最新のデーターにもとづいて事務局長の佐々木が解説します。

アセットブレインズ仙台ネットワークでは、地方都市における不動産証券化の啓蒙活動として、定期的にセミナーを開催しております。地方企業の“事業承継”の手段として企業不動産戦略と取り組む「みちのくCRE研究会」を立ち上げております。

本フォーラムが地方都市の不動産・建設会社、金融機関、有資格者等の不動産証券化関連プレイヤーの皆様のお役に立てれば幸いでございます。

趣旨のご理解とご賛同をいただき是非ご参加賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2007年8月

主 催：アセットブレインズ仙台ネットワーク
「仙台アセットマネジメント研究会」

TEL:022-773-6685 FAX:022-371-6880

HP:<http://www.asset-b.net> Mail:asset-b@md.neweb.ne.jp

事務局長：佐々木 正之